

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1 ・ 13	入居者様の生活の場である施設で、入居者様も職員も、誰もが笑顔でいられるような支援、体制作りと共に、認知症ケアの質の向上	ふれあいの里の基本理念に基づき、全職員がお互いに協力し合える関係の実践と、個々の介護技術・知識の力量を上げていく。	勉強会、カンファレンス、各担当会議等でその都度課題を把握して具体的な解決案を出し、実践していくと共に、実践が有効かどうか振り返りを行っていく。 職員一人ひとりが目標を立て、不得意な部分の強化を行い、達成状況を評価し、次の目標へと向かっていく。	12か月
2	25 ・ 48	入居者様ができる事を職員がやっちゃっているため、入居者様一人ひとりの「できる事」の見極めができていない。	入居者様の「できる事」を増やし、QOLの向上を目指して、生きがいを持って生活できるように支援していく。	現在、取り組んでいるお手伝いや軽作業等を、入居者様毎にシートに記入し、把握する。 そのシートを基に、入居者様の状況に合わせた取り組みを、話し合いで決めて行う。	12か月
3	40	イベントや時期の物を使った食事は工夫をしているが、普段の食事のメニューがパターン化してきている。	今以上に入居者様が日々の食事を楽しくできるようにする。	メニューを作成している職員を定期的に変更する。 入居者様との日々の会話の中から食べたい物を把握して、メニューに取り入れていく。	2か月
4	35	災害時における対策と備蓄している量と備蓄品の見直し	災害時に職員一人ひとりが対応できるようになる。	備蓄品について調べ直し、必要量・必要品を備える。 訓練を実施後、勉強会等での振り返りの徹底 定期的に施設内・外の点検	4か月
5		入居者様と共に行う、壁画作りやレクリエーションを職員が意見を出し合い、共に楽しむ環境ができています。	現状に満足せず、今以上に楽しんで過ごしてもらう。 軽運動を兼ねたレクリエーションに向けての体力の向上	どんな壁画があるか、ネット等から探して増やす。 作成しながら入居者様との会話を楽しみ、作成意欲を高める。 現在も行っているが、施設内の長い廊下を使っての下肢筋力の向上を記録に残し、意欲の向上に繋げる。	6か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。